

## 会員の皆様へ

原著論文の投稿：「根の研究」に原著論文の投稿がありました。前回と同様、編集委員の中から2名の方に校閲をお願いし、その校閲結果を基に厳正な審査を行なった結果、受理と決まり、本号に掲載となりました。今後も原著論文の投稿を歓迎いたします。

「根ハンドブック」から「根の事典」(仮称)へ：「根ハンドブック」はお陰様で多くの皆様にご利用頂き、残り50部ほどとなりました。すでにお知らせいたしましたように、これを全面的に改訂したものを朝倉書店から発行することになり、タイトルも「根の事典」と内定しました。今回は編集委員会を組織し、各章(および一部各節)ごとの編集責任者を決め、それぞれの章が単なる項の寄せ集めではなく、ストーリーがあるようなものにする。また、必要最低限の引用文献を付して、利用者の便をはかる予定です。編集委員会での何回かの相談の結果、本号に掲載いたしましたような内容となり、現在、執筆候補者の方々に依頼をしております。その過程で若干の変更がでてくる可能性があることを予めご了解下さい。マイナーな変更であればまだ可能ですので、ご意見などございましたら、至急事務局までお知らせ下さい。なお、「根の事典」の完成までには2年ほどかかる予定です。それまでは「根ハンドブック」を増刷して対応することに致しました。

第3回JSRRシンポジウム「イネの理想型根系」：表記のシンポが第2回アジア作物学会議の中のミニシンポジウムとして(都合により研究会の名称はだすことができません)開催されます。現在予定されているプログラムは、該当ページをご覧ください。すでにお知らせしておりました東北大学の星川先生と東京農工大学の平沢先生は海外留学などの都合によりキャンセルとなりました。外国人招待講演者の方々から発表要旨を頂きましたので、本号に掲載いたしました。なお、シンポジウムのプロシーディングは、組織委員の方々からも原稿を頂いたうえで、編集を行ない、海外の出版社から単行書として出版することになっております。

ファイトテクノロジー研究会との協力関係：同会と合同してセミナーやシンポジウムを開催していこうということで合意いたしましたが、今年は十分な準備ができておりませんので、同研究会が企画したものに根研究会が協力するというかたちを取らせて頂きます。来年以降は、相互に連絡を取り合いながら準備を進めていきたいと考えております。

論文・総説・報告書：会員の皆様が発表された論文、総説で、根や根を取りまく環境に関係するものの別刷(1990年以降に印刷となったもの)を事務局までお送り下さい。適当な時期にとりまとめてご紹介させていただきます。また、科研費の報告書等で会員の皆様にお分け頂けるものがございましたら、事務局までお知らせ下さい。